

緑・水・桜を楽しむ古里づくり

古殿町越代地区

古殿町

県中建設事務所
計画期間：H16～H18/H21～H24

地域づくりの方針

観光の活性化を図るために、**越代の桜**、**大風川溪谷**を中心に通年の観光客を受け入れる景勝地の基盤づくりを行い、隣接町村との広域的連携を図る。

主な事業内容

『越代の桜』を安全に安心して鑑賞するために
遊歩道
を整備するとともに、
狭小箇所の拡幅
を行いました。



事業概要図



地域の現状

『越代の桜』は、観光シーズンには、県内外から多くの人々が訪れています。「越代の桜保存会」や地区住民が周辺の草刈り等を実施するとともに、毎年『さくらまつり』を開催し、案内標識、ライトアップ等を実施し、まつりを盛上げています。町及び実行委員会で一部駐車場を整備しましたが、桜満開時には観光客が多く県道に路上駐車が発生し、通過交通に混雑をきたしています。また、大風川渓谷はケヤキ・モミ・フナノ原生林で、地元では遊歩道、駐車場づくりを行い観光資源の有効活用を図り観光入り込み客数の増加、ひいては交流人口の拡大を望んでいます。

地域づくりのあゆみ

- | | |
|----------|--|
| 平成16年 | <ul style="list-style-type: none">越代の桜保存会や大久田区、じねんじょ倶楽部が中心となり懇談会を開催、今後の地域のあり方などを議論、整備方針をまとめる。三株下市萱小川泉の越代の桜周辺屈曲部の改良工事が始まる。桜祭りの入り込み客数が、急激に増加しはじめてきた。 |
| 平成17年 | <ul style="list-style-type: none">昨年度、地域でまとめた整備方針に基づき、越代の桜前の遊歩道整備を開始。（測量設計） |
| 平成18年 | <ul style="list-style-type: none">昨年度、地域でまとめた整備方針に基づき、越代の桜前の遊歩道整備。（用地買収、工事完了） |
| 平成19年 | <ul style="list-style-type: none">「古殿おふくろの駅」の道の駅構想が本格化する。 |
| 平成20年 | <ul style="list-style-type: none">H21の「古殿おふくろの駅」の道の駅化にあわせ、地域づくり勉強会を開催、「古殿おふくろの駅」を核とした地域づくり構想が検討されるとともに、「古殿おふくろの駅」の入り込み車の増大に対応するため、国道349号右折レーン設置事業を行い、道の駅化に向けた対応を順次進めている。 |
| 平成21～22年 | <ul style="list-style-type: none">拡幅部測量設計。 |
| 平成23～24年 | <ul style="list-style-type: none">拡幅工。 |

地域づくりを進めてきた中での課題及び解決策

（地区住民：じねんじょ倶楽部 佐川勇司さん）

花壇と遊歩道の施工に当たり、自然環境に合ったものの選択に苦労しました。

実施した感想

（地区住民：じねんじょ倶楽部 佐川勇司さん）

事業を実施したことで地域に活性が出て、少し元気になったような気がします。

元気づくりの立役者たち



事業の効果

■地域イベントによる交流人口の拡大

整備されてからは利用数も年々増加し、それと平行し、県内外の人にも四季を通じて利用されるようになってきました。震災の影響があったものの、徐々に戻ってきています。

「越代の桜」来場者数

H18： 8,500人
H19： 18,000人（前年比111.8%増）
H20： 16,000人（雨の影響）
H21： 17,000人
H22： 10,300人
H23： 6,600人
H24： 11,700人

越代の桜まつり



流鏝馬の実演



■流鏝馬の実演

「越代の桜」見頃の時期にイベントを行い、流鏝馬の実演等を実施しました。

■地域資源への愛着の醸成

地域住民のボランティア活動も多くなり、遊歩道の花壇の手入れも力が入り、常に環境面に関心を抱くようになりました。

地元住民による花壇の手入れ



地域の課題・今後の展望

- 桜のシーズンばかりでなく、年間を通じた交流人口の拡大を考えています。
- 桜前後の県道三株下市萱小川線の未改良の連続により、大型バス等の通行に支障を来しています。
 1. 5車線整備、待避場設置整備が必要です。
- 「おうぎの会」が自主的に植栽管理や清掃活動を行っています。
- 地域の皆さんは、桜周辺の里山づくり計画を持っており、具現化のために話し合いを続けています。

整備内容及び利用状況

遊歩道整備



施工前



施工後



施工前



施工後



施工前



施工後

利用状況

歩車道が分離されたことで、歩行者の安全が確保され、一層の誘客につながっています。

(利用者の声)

- 歩道が整備されたことにより、自動車、歩行者ともに安全に通行できるようになりました。
- 花壇ができたことにより、桜以外にも様々な花を楽しむようになりました。
- 歩道整備後は桜祭の開催中も車道を歩く人が少なくなり、交通渋滞がなくなりました。

関係機関

- 福島県 石川土木事務所 業務課
- 古殿町 地域整備課
- じねんじょ倶楽部

TEL : 0247-26-2139

TEL : 0247-53-4612